

憲法と世論



[憲法と世論 下载链接1](#)

著者:境家 史郎

出版者:筑摩選書

出版时间:2017

装帧:平装

isbn:9784480016560

憲法に対し日本人は、いかなる態度を取ってきただろうか。世論調査を徹底分析することで通説を覆し、憲法観の変遷を鮮明に浮かび上がらせた、比類なき労作

作者介绍:

境家/史郎

1978年、大阪府生まれ。2002年、東京大学法学部卒業。2004年、東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。2006年、カリフォルニア大学バークレー校修士号(政治学)取得。2008年、東京大学博士(法学)取得。日本政治論、政治過程論を専攻。東京大学社会科学研究所准教授等を経て、首都大学東京准教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録: 第1章 「世論」不在の憲法論争?
第2章 改憲論優位の時代—占領期から「逆コース」の時代へ
第3章 脱イデオロギー化する憲法問題—高度成長期から五五年体制の崩壊へ
第4章 瓦解する「改憲派連合」—小泉改革から政権交代の時代へ
第5章 誰がなぜ改憲に賛成してきたのか
第6章 憲法意識の安定性と変化のしくみ
第7章 憲法と世論のゆくえ
付録 世論調査データの収集方法
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[憲法と世論 下载链接1](#)

标签

日本政治

比较政治

日本宪法

日本

政治行动论

政治学

评论

[憲法と世論 下载链接1](#)

书评

[憲法と世論 下载链接1](#)